

JAしまねびより


2018

1

January Vol.22

特集 島根のいいもの再発見!! 「松江市 キャベツ」 くまびき地区本部



Xaomichi
雪の松江城 

謹んで新春の

お慶びと

申し上げます

新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員のみなさまには、新しい年を穏
やかに迎えることとお慶び申し上げま
す。

おかげさまでJAしまねは統合後3回
目の新年を迎えることとなりました。

これもひとえに組合員のみなさまをは
じめ、地域のみなさまのご理解とご協力
の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、「農業者の所
得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性
化」を最重要課題として、各事業や取り
組みにおける自己改革と統合メリットの

創出に取り組んでまいりました。

営農関係では農業振興支援事業、生産
資材の価格低減、米の買取制度をはじめ
販売対策強化、TAC（地域農業の担い
手に向くJA担当者）による営農情報
提供や記帳代行、認定農業者支援資金な
どの担い手支援に取り組み、また、地域
の活性化としては、業績還元の実施と地
域活動への活用、地域貢献・地域活性化
に取り組まれた団体の表彰と活動資金支
援、女性部活動や子育て支援、地域イベ
ントなどを通じ、地域全体での活性化に
取り組んでまいりました。

さて、本年は「第1次中期経営計画」

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同

と「農業戦略実践3カ年計画」の最終年
度にあたります。計画に掲げています「持
続可能な農業の実現」や「豊かであらし
やすい地域社会の実現」「地域に根差し
た協同組合の役割発揮」に向け、総仕上
げの年として、更に実践をすすめてまい
ります。

計画を完遂するためには、JA事業・
組織にかかる自己改革の実践が不可欠で
ありますが、「組合員のみなさまのお役
に立てているのか」「組合員のみなさま
から求められているサービスを提供でき
ているのか」「組合員のための改革で自
分は何ができるのか」を役職員一人ひと

りが真剣に向き合い常に考え、広い視野と新しい発想、そして改革していく意識を持つことが重要であり、そうした取り組みを一つ一つ実践に移していくことが自己改革であると思います。

組合員や地域住民のみなさまのご期待に応え、JAの健全経営と更なる事業改革・組織改革をすすめていくため、担い手農家をはじめ組合員のみなさまとの話し合いをより活発なものにし、忌憚のないご意見を聴かせていただき、みなさまの声を事業や取り組みに活かし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」につながる自己改革の一つでも多く実践し、JAは変わったなと言ってもらえるよう取り組んでまいります。

今後も、みなさまから選ばれ、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組みを行ってまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

組合員・地域のみなさまにとって本年が幸多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年一月

代表理事組合長 竹下 正幸

自己改革実践中

「自己改革の実現」を発行しました

JAしまねでは、統合時より統合メリツトの発揮に併せて自己改革の実現に取り組んでいます。その実践状況についてみなさまにお知らせするため、取り組み状況をまとめた冊子「自己改革の実現」を昨年7月に発行致しました。

正組合員のみなさまのお宅を中心に配布させていただきますが、支店窓口にも冊子を備え置かせていますので、是非ご覧いただけますようお願い致します。
(冊子の内容は当JAのホームページにも掲載しています)



みなさまのご意見・ご要望を聞かせください

担い手の方が参加される集会や認定農業者の方のご自宅等に当組合の役員がお伺いし、JAへのご意見やご要望をお聴きする機会を昨年11月より順次、増やしています。協同組合は組合員のみなさまが主役で

す。組合員のみなさまからいただいた意見を事業運営につなげるよう、これまで以上に努力して参りますので、ぜひとも忌憚のないご意見をお願い致します。

自己改革に関する調査(アンケート)へのご協力をお願いします

JAしまねでは、現在取り組んでいる自己改革の内容についてみなさまのご意見をお伺いしたく、3月に自己改革に関する調査(アンケート)を実施させていただきました。今回の調査は、無作為で選ばせていただいた方に回答をお願いする予定です。対象となった組合員のみなさまにおかれては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い致します。

JAしまねでは、より一層、組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなれるよう、今後アンケートの実施や集会等を通して、みなさまの声を聴き取る機会を増やして参ります。引き続きJAの事業、活動へのご理解、ご協力を何卒お願い致します。

※12月に郵送で実施させていただいた「組合員アンケート」とは別のアンケートです。本アンケートは、3月に職員の訪問により実施させていただく予定です。



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【松江市 キャベツ】

1月は、くにびき地区本部。松江市東出雲町で、新規就農し、キャベツを栽培する高松和範さん、JALしまね中海干拓事業所の小室陽二所長のお二人にお話しをお伺いしてきました。



高松和範さん

新規就農したきつかけを教えてください。

高松さん 大学を卒業しNPO法人で働いている時、農業に接する機会がありました。

広大な土地でたくさん野菜を生産するのに魅かれ、転職を決意。JAさんと松江市が行っていた「だんだん営農塾」に参加し、東出雲町の中海干拓地で盛んに生産されている、通称「くにびきキャベツ」の栽培をはじめることになりました。地元の農業者の野津一修さん・松田純一さんに師事し、研修と並行して2年間、現場で経験を積みながら学びました。その後独立し、今年で4年目になります。7〜9月頃に苗を定植して、収穫はおもに10月から翌年6月頃まで行っています。1年目



真剣な眼差しが、高松さんの熱い想いを物語っていました

は1・8ヘクタールの面積で生産を始め、現在は3ヘクタールまで栽培面積を増やしています。

くにびきキャベツとはどのようなものですか？

小室さん 松江地区でのキャベツ栽培はほとんど、この中海干拓地の掛屋工区で栽培されています。全体の作付面積は約37ヘクタールで、2016年は秋の長雨等の影響もあり、例年より少ない、730トン出荷しました。年間の目標出荷量は、多い時の実績と同じ、1,000トン以上を目標にしています。営農当初は栽培面積を拡大しても生育が不安定な時もありま



広大な農地で栽培されるくにびきキャベツはこれから最盛期を迎える



中海干拓事業所にある集荷場から市場へ

した。そのため、定植後の生育にに応じて作型ごとの農薬散布を行う設定になっていた防除暦を、秋冬キャベツの全作型・全品種で一度に防除できるように「一斉防除方式」に改めました。適期に一斉防除のある薬剤によって一斉防除するので、結果的に防除回数も減少。害虫防除を効果的に防ぐことができるようになりました。また、高い安全性と

優れた品質を兼ね備えた産品を認定する「美味しまね認証」を生産者全員が取得。大阪を中心に出荷していますが、品質にこだわった結果、おかげさまで関西を中心に「島根キャベツ」ブランドとして高い評価をいただいています。

干拓地での営農開始から約30年が経過していますが、何か課題はありますか？

小室さん 地区管内全体の農地と同様に、営農者の高齢化等の要因もあり、作付休閑地が依然として見受けられます。松江・八束くにびきキャベツ部会の会員は現在46人、平均年齢はざっと65歳です。そこで松江市と共同で新規就農者の確保に取り組んでおり、後継者育成のための今年で6期目となる「だんだん営農塾」事業を行っています。卒業生である高松さんのような若い30代前後の新規就農者が面積拡大を図っているの、なんとか現状を維持しているところ。高松さんのような新規就農者が増えて欲しいと、努力を続けているところです。



「雪が降ろうが!」という高松さんのような存在が心強い

就農された感想と今後の抱負を聞かせてください。

高松さん 広大な畑で、専用包丁を使って1個1個、手作業でキャベツの根元を切り落とし収穫します。何千、何万个とあり、ひたすら同じ作業を続けなければなりません。

松江市 キャベツ 一口メモ

中海干拓事業は昭和38年から行われ、旧八束郡東出雲町と松江市意宇町からなる揖屋工区は平成元年度に完了した。地区面積は323ヘクタールで、そのうち農地面積は202ヘクタール。栽培品目で規模が大きいものは、牧草約38ヘクタール、キャベツ約37ヘクタール、津田かぶ約9ヘクタールとなっている。このほか、作付け準備状態のほ場が約20ヘクタール、作付け休閑状態のほ場は約34ヘクタールあり、地区内農地の30パーセント弱で、担い手が不足している状態。高松さんのような新規就農者を増やす努力をJAしまねや行政が一丸となって続けている。年間を通じて美味しいキャベツ作りにこだわっており、適度に歯ごたえがあって、みずみずしさに優れた干拓地のキャベツが「島根キャベツ」として関西を中心に高い評価を得ている。

また、「くにびきキャベツ」は「美味しまね認証」を取得していることにより2020年オリンピックで使用することも可能な野菜である。



出荷のピークを迎え、規模拡大を念頭にした高松さんの毎日の戦いが続く



作業自体は単調な仕事ですが、農業をするのが好きなので、単調な仕事でも頑張っています。

いけます。また、周りにキャベツを作っている人がたくさんいるので、困った時には相談できるのが、新規就農をするにあたって心強く感じました。研修時代に大変お世話になった師匠の栽培規模は、はるかに大きい。当面は現状の面積を維持しながら、機会を見て規模を拡大し、いつの日か師匠に追いつければと思います。

雲南

ブランド米振興大会 生産者ら意欲高める

雲南市水田農業担い手協議会が主催する「平成29年度雲南市ブランド米振興大会」が12月6日、同市木次町のチェリヴァホールで開かれ、生産者や関係者ら約70人が参加。つや姫生産の研修や優良生産者の表彰を行いました。

平成29年度優良生産者表彰では、田中政明さん（大東町）と農事組合法人春石（大東町）が選ばれ、さらに田中さんは雲南市長杯を、農事組合法人春石は、JAしまね雲南地区本部長杯を受賞しました。

平成28年産米からブランド米として取り組みを始めた雲南市プレミアムつや姫「たたら焔米」は、一定の要件を満たしたワンランク上のつや姫として、市とJAが認定したお米。

作付面積や生産者も増えた中で2年目を迎え、同協議会の渡部彰夫会長は「雲南市のブランド米が全国に広まるよう、皆様方と苦難を乗り越え取り組んでいきたい」と話しました。



左から速水市長、田中さん、渡部会長、農事組合法人春石、加藤本部長

くにびき

くにびき女子大 玄丹そばでそば打ち

くにびきサンサン女子大は12月2日、教育文化センターSan・san館で、松江市特産の「玄丹そば」を使ったそば打ち体験講座を開催しました。32人の学生が参加し、玄丹そばのおいしさを体感しました。



当日は、地元のそば打ち名人・細田純夫さん（玉湯町大谷）を講師に招き、そば打ちに挑戦。細田さんから「水加減に注意してこねて」「円盤状に広げながらのぼすように」などと実演つきのアドバイス

を受けながら、真剣な表情でそばを打ちました。

講座終盤には、細田さんによる打ちたてのそばを全員で試食。「普段食べているそばより香りがよくておいしかった。自分で打ったそばを家で食べるのが楽しみ」などと感想を話しました。



そばをこねる学生

隠岐

来店感謝デーを実施

隠岐地区本部は12月15日、管内4か所の支店窓口で、日頃のご愛顧に対する感謝をこめて、「隠岐地区本部 来店感謝デー」を開催しました。イベントの開催にあたって、事前にチラシ配布を各支店窓口等で行い、当日には通常来店人数の2倍近くのたくさんの利用者の方にご来店いただきました。

ご来店いただいた方にはクジ引きをしていただき、「冬の風邪予防対策」をコンセプトとした「加湿器」「自動ハンドソープ機」など関連グッズのプレゼントをしました。来店者からは「いつも楽しみにしているよ」「来てよかったわ」など言っていました。



やすぎ

やすぎのエコ白ネギをアピール

やすぎ白ネギ部会は12月2日、雲南市のみしまや三刀屋店で安来のエコ白ネギの販売イベントを行いました。エコ白ネギは、通常の栽培に比べて化学肥料を県基準の半分にまで栽培しており、環境に優しいのが特徴で、今回のイベントでは100束を販売しました。

また美味しいエコ白ネギを実際に味わってもらおうと、エコ白ネギを50本使用した白ネギ豚汁を無料配布し美味しさをアピールしました。試食した方は「ネギが甘くてすごく美味しい!買って帰るわ!」と好評でした。同部会の山本進部会長は「今後もイベントなどを通じて、安来のエコ白ネギをアピールしていきたい」と意気込みを語りました。



新鮮なエコ白ネギ



販売、試食の様子

斐川

あぐり探検隊 餅つき・そば打ちを体験

斐川地区本部は12月10日、斐川営農総合センターで、農業体験活動「第5回あぐり探検隊」を開きました。今回の活動では、餅つきとそば打ち体験を行いました。

餅つきでは、隊員が田植え、稲刈りを自ら行ったもち米を使用。事務局とJA斐川女性部の指導により、臼と杵を使って餅つきを行い、隊員たちは楽しそうに力強く杵を振り下ろしていました。

そば打ちでは、荘原地区の高橋義孝さんと糸賀充さんの指導の下、斐川産のそば粉を使用し、隊員たちは真剣にそば打ちを体験しました。

JAでは次年度以降もあぐり探検隊などの活動を通して子どもたちに食と農について学ぶ機会を提供していきます。



隠岐
どうぜん

隠岐島前農政会議が発足

隠岐島前農政会議は11月20日、海士町マリンポートホテルで設立総会を開きました。隠岐どうぜん地区本部が中心となり設立に向けて準備を進め、同日発足しました。

発足式の冒頭で新谷徳昭本部長が設立趣意書を読み上げ、農業者の自主自立な組織として、JAグループと連携して農業・農村の振興を図り、一致団結して相互研鑽と情報の共有など、県内および全国の仲間とともに農政運動を展開していくことを確認しました。

当日は島根県農政会議の石倉茂美会長を来賓に招き、祝辞をいただきました。石倉会長は、当地区本部での発足により島根県全域で農政会議が組織されたことを喜びとともに、その意義について話しました。

総会では同会議の規約の他、活動計画や収支予算案などが承認され、会長に西ノ島町の口村光房さん、副会長に知夫村の向濱樽幸さんが選任されました。また、委員2人、監事2人が初代役員として選出されました。



選出された初代役員（左から、口村会長、南敬二監事、板谷栄一委員、村上良夫監事、美濃芳樹委員）

石見銀山

オリジナルカレンダー完成

石見銀山地区本部は12月20日、オリジナルカレンダーを発行し、JA職員が「ふれあいの日」に、管内組合員宅へ配布しました。同地区本部オリジナルカレンダーは、毎年発行しています。

2018年版は、大田市仁摩町の「琴ヶ浜」がテーマ。今年の10月13日に、国の天然記念物に指定告示されたことを記念して制作しました。琴ヶ浜海岸の他、江戸時代から現在まで受け継がれている同町宅野地区の「宅野子ども神楽」や世界最大の砂時計「砂暦」が設置されている「仁摩サンドミュージアム」、左官職人が民家や土蔵の壁に漆喰を使って施した造形物「鏝絵」など同町の伝統文化や名所の写真が各月を飾ります。

地元写真家や市、県の観光協会などの協力を得ながら完成しました。



琴ヶ浜が表紙を飾るJAオリジナルカレンダー

出雲

JAしまね出雲しいたけ部会 年末講習会開催

JAしまね出雲しいたけ部会は12月5日、島根ワイナリーで年末講習会を開催しました。部会員、行政関係者、JA役職員ら約53人が出席。市場情勢や今年の出荷状況を確認したほか、年末に需要のピークを迎えるにあたって、株式会社北研から講師を招き、水管理や温度管理など栽培方法について講習を受けました。

同部会の栽培する菌床生しいたけ「神々の国 出雲しいたけ」は肉厚で市場からの人気も高く、当日出席した各市場関係者は「年末の需要期にたくさん出荷してもらいたい」と要請しました。

同部会では、島根県独自のGAP制度「美味しまね認証」の取得に部員一丸となって取り組んでおり、11月には島根県・JAの担当者らが部会員65戸を巡回し現場改善を行うなど、同認証の団体取得に向け大詰めを迎えています。同部会の三島茂部会長は「競争も激しい中、認証取得で安全・安心をPRできることは大きな強みになります。一人も乗り遅れることなく、『美味しまね認証』の列車に乗ってもらいたい」と呼びかけました。



認証取得に向け気運を高める三島部会長

西いわみ

農業青年クラブが「わんぱくらんど」収穫祭を開催

津和野町農業青年クラブ（会長石橋康邦）は12月8日、同町後田の津和野町町民センターで「わんぱくらんど」の収穫祭を開きました。

田植えや稲刈りなどの農作業を通して、農業に親しんでもらい食べ物の大切さを学んでもらおうと平成9年から始めた「わんぱくらんど」は今年が21回目となります。

当日は、同町田二穂地区の水田で園児らが春に植え、秋に刈り取ったもち米「ヤシロモチ」を使い餅つきをして収穫を祝いました。



島根おおち

ドライブレコーダーで安心・安全に貢献

島根おおち地区本部は12月13日、管内の安心・安全に寄与することを目的として、公用車に設置したドライブレコーダー等の記録データを提供するための協定を川本警察署と締結しました。

協定締結式は川本警察署で行われ、生活安全刑事課の足立大樹課長が協定内容の説明をした後、同署の坂根英明署長と同地区本部の日高光弘本部長が協定書へ署名調印しました。

同地区本部では、社会貢献や役職員の交通安全に対する意識の向上を目的として、公用車にドライブレコーダーを設置しました。公用車は約120台あり、12月から順次設置して今年度は50台に設置しました。残りの公用車については、来年度以降に計画的に設置していく予定です。

今後、ドライブレコーダー等の記録データを捜査情報等として提供することで交通事故の抑止、事件事故の捜査活動、災害に対する危機管理等に活用し、管内地域住民の生活の安全、安心に寄与することを目指していきます。



本店

第19回島根県家の光大会を開催

JALまねとJALまね女性部は12月6日、出雲市のラピタウェディングパレスで第19回県家の光大会ならびにJALまね女性部研修会を開き、家の光愛読者や女性部員など約170人が参加しました。

くにびき、雲南、出雲の各地区本部の愛読者による記事活用体験発表では、「輝く～私たちのえんまん座～」と題して、『家の光』への掲載をきっかけにメンバー拡大などに取組んだことを発表した出雲地区本部の飯國恵美子さんが最優秀賞に選ばれました。飯國さんは来年2月に横浜で開催される全国家の光大会に県代表として出場します。

また、研修会では、NPO法人コミュニティスクール・まちデザインの近藤恵津子理事長が「食の安心・安全について～食品添加物と表示について～」と題して講演しました。



表彰状を受ける飯國さん（右）と、表彰状を読み上げるJALまね山根盛治副組合長

いわみ中央

消費者交流会 冬野菜を使ってキムチ作りを学ぶ

いわみ中央地区本部は浜田市黒川町のふれあいホールで12月5日、浜田市と共催で産直交流会を開き、市内から29人が参加しました。

講師に浜田市弥栄町在住の朴銀環さんをお招きし、旬の野菜である地元産の白菜、大根を使った白菜キムチ、大根キムチ作りの実演を交えた講義を行いました。実演では、白菜の塩漬の行程や大根を均等に切る方法など、事前準備の大切さなどの説明を受けました。

参加者は、「説明がとても丁寧で分かり易くて良かった。次回もこのような講習会が開催されれば是非参加したい」と話しました。



白菜キムチ



大根キムチ

平成29年度 西部地区子牛共進会を開催



10月27日に西部家畜市場で開催し、西部地区（いわみ中央地区本部・西いわみ地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛16頭の出品がありました。

当日は秋晴れの中、審査員の厳密な審査により、最優秀賞には、益田市「田原 正太」さん出品牛「はな2号」が選ばれました。

審査風景



個体審査

比較審査

●西部地区子牛共進会授賞目録

区分	番号	住所	氏名	区分	番号	住所	氏名	
最優秀賞	9	益田市	田原 正太	首席	1	益田市	伊藤 宣男	
優秀賞	15	益田市	佐々木恵美	優良賞	4	津和野町	石川 公芳	
	13	益田市	田原 武吉		6	浜田市	長田 長正	
	3	浜田市	佐々木祥二		7	益田市	河野 将樹	
	16	津和野町	京村 真光		8	益田市	南中島ファーム	
	11	浜田市	藤本 邦弘		12	益田市	橋本 政喜	
	10	浜田市	佐々木祥二		14	津和野町	京村 真光	
	2	浜田市	樋口 誠二					
	5	益田市	澤江 寛美					

平成29年度 島根中央子牛共進会を開催



11月10日に島根中央家畜市場で開催し、東部地域（くにびき地区本部・やすぎ地区本部・雲南地区本部・斐川地区本部・出雲地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛40頭の出品がありました。

今年度は、秋晴れの下、皆様のご協力もあり全課程を野外審査場で行うことができました。

成績につきましては、各区の優秀賞首席に1区 奥出雲町「佐藤 治巳」さん出品牛「かつざくら号」、2区 安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が授賞され、グランドチャンピオンには、2区、安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が選ばれました。

各受賞結果は右記のとおりです。

審査風景



●島根中央子牛共進会授賞目録

	出品№	第1区			第2区		
		住所	氏名	出品№	住所	氏名	
島根県農業協同組合長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	
	(各区:4席) 6	奥出雲町	勝田 律江	34	奥出雲町	松浦 雅子	
	(各区:5席) 17	出雲市	杉山 利夫	38	雲南市	高島 幹雄	
島根県知事賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
島根県家畜商組合理事長賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
島根県家畜人工授精師協会会長賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
全国和牛登録協会島根県支部長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県畜産振興協会会長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
J A西日本くみあい飼料株式会社社長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県農業共済組合連合会長賞	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
島根県獣医師会長賞	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	

支店窓口（金融共済等）の営業開始時間変更について（お知らせ）

支店窓口（金融共済等）の営業時間

平成30年3月30日まで

午前8時30分～午後3時00分
（一部支店で開店・閉店時間が異なります）



平成30年4月2日より

午前8時45分～午後3時00分
（一部支店で開店・閉店時間が異なりますので、ご利用の支店のお知らせを御覧ください）

支店窓口（金融共済等）の営業時間開始につきまして、上記のとおり変更させていただきます。組合員・利用者の皆様にはご不便をお掛けしますが、今後とも一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

両替手数料改定のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

平成30年4月2日から、**両替手数料を改定**させていただきます。今後とも、当JAでは、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

◎両替手数料（改定後）

お取扱枚数	窓口手数料（消費税込）
1～49枚	無料
50～500枚	324円
501～1,000枚	648円
1,001～1,500枚	972円
以降500枚ごと	324円加算

◇有料となる両替には、新札への両替、現金のお引き出しの際に、新札および金種をご指定される場合を含みます。
◇お取扱枚数は、ご持参（両替前）の枚数、お持ち帰り（両替後）の枚数のいずれか多い枚数が基準となります。
◇大量の硬貨により貯金をご入金される場合には、両替手数料をいただきます。
◇両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。
◇同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきます。
◇汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、隠岐地区本部では、JAしまねの自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を重点課題として各事業に取り組んで参りました。営農関係では、農業振興支援資金を活用した子牛増頭対策、肥料・農薬・飼料の海上輸送費を含めた価格低減対策、米の買取制度をはじめ「島の香り隠岐藻塩米」の首都圏等への販売促進活動の他、担い手支援対策に取り組みました。また、地域活性化対策として、業績還元を利用した平成29年産米集荷対策助成の実施と地域活動に積極的に取り組んで参りました。

さて、本年はJAしまねが策定した「第一次中期経営計画」と「農業戦略実践三か年計画」の最終年度にあたります。そこで、隠岐地区本部では、総仕上げとして隠岐の農畜産物生産拡大に向けた取り組みの中の、「島の香り隠岐藻塩米」等、特色あるこだわり米の生産・販路の拡大・全国ブランド化と、放牧を基本とした隠岐牛の生産拡大についてさらに実践を進め、また、多様な担い手の育成と支援強化による農業基盤の再構築に取り組んで参ります。特に、今年は、上場頭数の増加による家畜市場処理能力の不足と老朽化に対応するため、平成30年度中の家畜市場新築移転について取り組んで参ります。

今後、環太平洋経済連携協定（TPP）、二国間や複数国でのEPA（経済連携協定）やFTA（自由貿易協定）等の交渉激化が憂慮され、農協改革と相まって、農業・JAグループに突きつけられる課題は、一言で表現できないほど厳しいものになってくると想定されます。

こうした時こそ、自主自立の協同組合組織として、JAしまねの基本理念「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」にもとづき、地域の農業・農村を守るとともに、組合員や地域住民の皆さまに信頼され、お役に立てるJAとして、農業の振興ならびに地域社会の発展に貢献できるよう役職員一人一人が課題意識を持って事業改革を進め、この変革の時を乗り越えて行きたいと考えております。何卒、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員・地域の皆様にとって本年が幸多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

島根県農業協同組合 隠岐地区本部

常務理事本部長 佐々木 賢治

営農技術情報

新年を迎え、しばらく農作業も一休みされている方が多いと思います。

今回は、主に野菜や果樹、花卉で使う農薬の希釈や遵守事項についてお繋ぎします。

J Aで扱う農薬の多くは粒剤、乳剤、水和剤などで、粒剤は殺虫剤や除草剤が多く、殺虫剤の場合は土壌混和や土壌表面散布で作物の根から吸収させて害虫を駆除しますし、除草剤の場合は土壌表面散布で処理層を形成し雑草を枯らせます。乳剤、水和剤は殺虫・殺菌剤に多く、作物毎に決められた希釈倍率に薄めて噴霧器で散布します。殺虫剤の場合は接触して効果が現れるものが多く、朝晩に作物にまんべんなく散布する方が効果的です。殺菌剤はタマネギのべと病の薬(プロポーズ顆粒水和剤)のように治療効果が望めるものもありますが、大半は病気の進行を止めるものが多いので、初期病班を見つけたら直ちに作物にまんべんなく散布するか、事前に予防的に散布することをお勧めします。

農薬を使う際は、必ず裏面(表面の場合もあり)の登録作物を確認して登録があること、希釈倍率、収穫何日前まで使えるか、合計何回まで散布出来るかを確認してから使用して下さい。

詳しくは経済課までお問い合わせ下さい。

農薬の希釈倍率早見表

(単位：水和剤はg、乳剤はmL)

水量	希釈倍率					
	50倍	100倍	500倍	1,000倍	1,500倍	2,000倍
1L	20.0	10.0	2.0	1.0	0.7	0.5
2L	40.0	20.0	4.0	2.0	1.3	1.0
3L	60.0	30.0	6.0	3.0	2.0	1.5
5L	100.0	50.0	10.0	5.0	3.3	2.5
10L	200.0	100.0	20.0	10.0	6.7	5.0

例：1,000倍液を5L作るには、薬剤5mLを水に溶かして5Lにします。(1mLは1g、1ccと同じ)
(水和剤の場合は薬剤の量gに置き換えます)

平成29年12月12日現在

品 種 名	予約数 (袋)	出荷数 (袋)	等 級			1等米 比率	集荷率
			1等	2等	3等		
コシヒカリ合計		9,194	7,567	1,601	26	82.3%	97.7%
コシヒカリ(通常)	9,408	5,803	4,439	1,338	26	76.5%	
ハデ干し		582	319	263		54.8%	
一般藻塩米		1,353	1,353			100.0%	
特選藻塩米		1,456	1,456			100.0%	
きぬむすめ合計	4,655	4,582	4,482	92	8	97.8%	98.4%
きぬむすめ		3,533	3,433	92	8	97.2%	
きぬ特選藻塩米		1,049	1,049			100.0%	
つや姫	1,015	755	658	97		87.2%	74.4%
五百万石	811	782		767	15	0.0%	96.4%
神の舞	168	169		31	138	0.0%	100.6%
山田錦	200	183	133	50		72.7%	91.5%
もち米	138	203	47	81	75	23.2%	147.1%
うるち米計(抜粋)	15,078	14,531	12,707	1,790	34	87.4%	96.4%
総合計	16,395	15,868	12,887	2,719	262	81.2%	96.8%

※フレコンは紙袋36袋に換算しています

(報告/経済課)

平成29年産米は、田植え時の強風や水不足による田植えの遅れ、登熟期の低温などが懸念されていましたが、隠岐地区は概ね順調に推移し、収量は少ないほ場があったと報告を受けていましたが、品質は非常によく、うるちの1等米比率も全銘柄で87・4%と高いものとなりました。

平成29年産米集荷状況

J
A
N
E
W
S

平成30年営農座談会日程表(予定)

開催日	開催時間	班	会 場	参集範囲	開催日	開催時間	班	会 場	参集範囲
2月6日 ④	午前9時30分 から午前11時	1	蔵見集会所	倉見・雨来	2月8日 ④	午前9時30分 から午前11時	1	中里集会所	中里・西里・金屋・ 蛸木・津戸・歌木
		2	東郷集会所	東郷・飯田・津井			2	山田地区 生活改善センター	郡・山田
	午後1時30分 から午後3時	1	有木集会所	有木・城北町・池田		1	上地区集会所	上里・向山・森里・ 砂子谷	
		2	中老人福祉センター	上元屋・下元屋・浜田・ 森・郡・湊・上・布施・ 卯敷・飯美		2	小路地区集会所	那久路・小路	
	午後3時30分 から午後5時	1	下西集会所	下西・西田・平		1	旧那久小学校	浜那久・上那久・油井・ 蔵田	
		2	西村集会所	西村・松ヶ浦・伊後		2	役場五箇支所合庁舎 (旧中央公民館)	北方・南方・代・ 苗代田・福浦・長尾田	
2月7日 ④	午前9時30分 から午前11時	1	今津集会所	今津・岸浜・岬	2月9日 ④	午前9時30分 から午前11時	1	久見地区農村集落 多目的共同利用施設	久見・向ヶ丘
		2	皆市集会所	皆市			2	原田中央集会所	原田
	午後1時30分 から午後3時	1	JFしまね加茂出張所	加茂・箕浦	1	J Aしまね 隠岐地区本部	全域		
		2	都万目集会所	都万目					
午後3時30分 から午後5時	1	犬来集会所	犬来・大久・釜						
	2	勝山会館	近石・真杉						

平成27年産米の最終精算について

平成27年産米の最終精算金が確定しましたのでお知らせします。
 なお、精算金については、平成29年12月27日に、出荷頂きました全品種について振込みをしております。

平成27年産米の主な品種の最終精算金額一覧 (単位:円、30kg当り)

品種	等級	規格	概算単価A	最終精算金B	最終単価A+B
コシヒカリ	1	(基準)	5,250	649.37	5,899.37
	1	はで干	5,450	649.20	6,099.20
きぬむすめ	1	(基準)	4,800	642.18	5,442.18
つや姫	1	特別栽培	5,500	638.78	6,138.78

※今回振込をした精算金単価はB欄をご覧ください
 ※品種別、等級別に精算金額が違いますので、詳しくは個別にお届けした「精算通知書」をご覧ください

歳の瀬市の開催

歳の瀬市が12月27日(水)に開催されました。

歳の瀬市は、年末に隠岐農産物生産者協議会を主体に各関係機関の協力を仰ぎ開催しており、生鮮野菜・正月用



品・農産加工品・水産加工品の販売が行われました。
 当日は悪天候の影響もあり、開催直前に会場を屋外特設会場から隠岐島文化会館1Fホ

ワイエに変更し開催することとなりましたが、たくさんの人に足を運んでいただくことができ、特にそばもちなどの前には多くの人が押し寄せ、大賑わいとなりました。
 隠岐農産物生産者協議会では、歳の瀬市、夏の夕市など生産者の顔が見える直売会を開催しており、今後も多くの場でこのような直売会を開催していきたいと思えます。

(報告/経済課)

椎茸部会が島外視察研修会を実施

12月6日から8日にかけて隠岐島農産物生産者協議会の椎茸部会は、隠岐島内におけるジャンボ椎茸栽培の技術向上や現在の椎茸市況・販路の把握をすることを目的に、島外視察研修会を実施しました。



1日目は鳥取県鳥取市にある日本きのこセンター研究所が所管してい

る「叶ハウス」を訪問し、実際にジャンボ椎茸がハウス栽培されているところを視察しました。ハウス栽培では整然とほど木が置かれており、簡易な資材でも椎茸が発育しやすいように、新たな栽培技術の研究も行なわれていました。また、ジャンボ椎茸の味を経験しようと1日目の宿泊先である「対翠閣」にてジャンボ椎茸のステーキや椎茸の焼酎もりを味わい、生産者の方からも好評で、更にジャンボ椎茸に対しての理解・関心が深まりました。

2日目には、日本きのこセンター研究所でジャンボ椎茸の栽培技術や販路・市況について研修を受けました。研修の中で印象的だったのが、以前と違って現在は特に異物(虫)の混入には神経をとがらせているとのこと、研修を受けた生産者は、異物混入防止に対する認識を新たにしていきました。その後、鳥取市内でハウス2棟・露地1か所やジャンボ椎茸を生産されている長谷川さんの圃場を視察し、椎茸を生産する上での課題である歩留率の向上について共有を図りました。

今回の研修によって、島内ジャンボ椎茸の生産拡大やブランド椎茸化に繋がればと思います。そのためには、島内での隠岐産椎茸の知名度の更なる向上が必要であり、今後、様々な機会での積極的なPRを図っていくことが必要となります。

(報告/経済課)

お便りコーナー

読者の皆様のご意見・ご感想を紹介いたします。たくさんのお便りお待ちしております。

- ・ハウスの冬の利用法として青いシートをはって、春までにはフワラ、メメカ等入れておきました。近年は冬の風が台風並みに強く、パイプが曲がる為、今年から中止にしました。(上西・Fさん)
- ・野々村先生の絵のファンです。雄大な滝、昔々また若い時に一回行った事が有りませう。・・・隠岐にもこんな素晴らしい所があるんですね。(中村・Iさん)
- ・家庭菜園記事を楽しんでいます。遅くに農を継いだもんですから1年生です。今後共宜しくおねがいます。(中村・Iさん)
- ・地元の商品を歳暮小包やミヤゲに勝部さんの煎餅を加えています。勝部さんのパワで事業の増々の発展を期待しています。(上西・Hさん)
- ・家庭菜園を見てこの前まで畑にいて大根・はくさい・春菊と作っていたのに・94歳をむかえて叶わぬ思いが込み上げる今日この頃です。(原田・Sさん)
- ・やっぱりクロスワードパズルは楽しいです。(久見・Sさん)
- ・年金友の会旅行楽しそうでしたね。(栄町・Mさん)
- ・正しい靴選び参考にになりました。(原田・Mさん)
- ・JAしまねびよりを毎回来しみにしております。特に地区本部トビックスや健康散歩等をよく見ます。(犬来・Iさん)
- ・食材レシピ毎回来しみにしています。(中村・Yさん)
- ・健康散歩は、とても参考になります。お便りコーナーも楽しみです。「JAからの回答」も参考になります。毎号しまねびよりを楽しみにしています。(有木・Mさん)
- ・島根のいいもの再発見の記事がおもしろかったです。(元屋・Sさん)
- ・JA島根厚生連の健康散歩(冬こそ水分補給を!)で冬はそんなに水分を必要ないと思っていましたが大変ありがたい指導と日々心がけて散歩する様になります。(池田・Hさん)
- ・毎回来しみにしています。(原田・Hさん)

「JAとのお取り引きはこれから」
というお客様もお気軽にご来店ください!



JAしまね 休日ローン 相談会

2018.1.28日 9:00-15:00

場所：隠岐支店1階

ローンに関する
ご相談をいただいた方へ
**サザエさん
バスケットボール
プレゼント**

品切れの場合は他の粗品に
かえさせていただきます。



写真はイメージです。

子育て応援宣言

KO'S DATE OH EN SEN GEN

H29.12.1時点

©ちよりス

住宅ローン

1 子育て応援サービス

お子様お一人につき当初特約期間の適用金利を年0.1%引下げいたします。

引下げ

2 金利に上限を設定!

ご安心ください!
変動金利に上限を設定します!

3 他金融機関からお借換えされると年0.1%金利引下げ

他金融機関でご利用中の住宅ローンをJAにお借換えされる場合は、当初特約期間の適用金利を年0.1%引下げいたします。

年0.1%引下げ

マイカーローン

固定金利	変動金利
通常年1.75%	通常年1.70%
子育て引下げ 年0.30%金利引下げ 1.45%	子育て引下げ 年0.30%金利引下げ 1.40%

point 1 お借入金額は最高1,000万円 point 2 お借入期間は最長10年

便利なカードタイプ「ジョイカード」もあります。

①子育て応援サービス対象の方 ②当JAに給与または年金の受取口座を指定いただいている方 ③当JAで年金受取をご予約いただいた方

教育ローン

固定金利	変動金利
子育て引下げ 年2.00%	子育て引下げ 年1.85%

point 1 お借入金額は最高1,000万円

point 2 対象のお子様の在学期間中は利息のみのご返済とすることが可能

point 3 便利なカードタイプ「みらい」もあります。



詳しい情報はインターネットからもお調べいただけます。

JAバンクしまね

検索



隠岐地区本部 年金相談会の開催について

◆年金相談会／開催日時：1月28日(日) 13:00~17:00 場所：隠岐支店2階会議室

【ご持参頂くもの】①年金手帳(ご本人様、配偶者様のもの) ②基礎年金番号通知書(ご本人様、配偶者様のもの) ③ご印鑑 ④雇用保険被保険者証 ⑤年金に関する書類 ⑥通帳番号のわかるもの

【事前申込】各支店へ電話または直接窓口にてお申込みください。

タテのカギ



- ⑧友人の結婚をみんなで——した
- ⑨魚の下ごしらえの際に取ることも
- ⑩将棋に似た西洋のゲーム
- ⑪五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- ⑫温めた豆乳から引き上げます
- ⑬アルバイトの面接を受ける際、書いて持っていくことも
- ⑭ドストエフスキーの著書『——と罰』
- ⑮寒い日にはポツと赤くなる人も
- ⑯ボルトと組み合わせて使います
- ⑰セーフの対義語
- ⑱模試では合格の——が80%だった

ヨコのカギ



- ①2018年の——五輪は平昌で行われます
- ②力士が踏むもの
- ③ツルのものは長く、カモのものは平たい
- ④尺八やフルートはこの仲間
- ⑤医師に処方してもらうものの一つ
- ⑦ずいぶんと——が飛躍しているなあ
- ⑩銀世界を眺めて楽しむこと
- ⑫日本——が寒波に覆われた
- ⑬スマホで明日の天気——を調べた
- ⑭漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- ⑰桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- ⑲鬼の頭に生えています
- ⑳バレンタインの本命チョコに込めます

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
		E				
	7		11		19	
						C
2			12	15		
		10				
						B
3	8				20	
			13	16		
4						
						D
5				17		

答え
A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
平成30年2月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「フクブクロ」

ナ	ク	サ	フ	シ
マ	ス	イ	ハ	ン
エ	ト	ド	ン	シ
	ホ	シ	ブ	ド
マ	オ	レ	エ	ミ
ス	ト	リ	ー	ト
イ	ロ	キ	ク	ズ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんば
健康散歩
JA島根厚生連

正しい手洗い 出来ていますか？

風邪やインフルエンザを予防しますが、手洗いをしっかりと

- ①まず、腕時計やアクセサリなどは外しましょう。
- ②流水で手を洗い、石けんを適量手に取って両手でよく泡立てます。
- ③手のひら全体をこすり合わせ、泡を伸ばします。
- ④手の甲をもう片方の手のひらで、こするようにして洗います。
- ⑤両手の指と指を組むようにして、指の間をもみ洗います。
- ⑥親指をもう片方の手のひらで包み込み、軽く回転させて洗います。
- ⑦指先で、もう片方の手のひらを引っ掻くように動かして洗います。
- ⑧手を反対の手のひらで軽く握り、回転させて洗います。
- ⑨15秒程度流水で、泡を完全に洗い流します。
- ⑩最後に、清潔なタオルやペーパータオルなどで水分をよく拭き取り、しっかりと乾かしましょう。

★手洗いをするとき、次の手順でしっかりと洗うようにしましょう★

風邪やインフルエンザの予防のために、帰宅時や食事の前など手洗いをすることが習慣になっている方も多いと思いますが、なぜか毎年、風邪やインフルエンザは流行ってしまいますよね。風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。洗い残しのないような手洗い、みなさんは出来ていますか？

普段、私たちが触れるドアノブや手すりなど様々な場所に、目には見えない細菌やウイルスなどが付着しています。そういった場所を触った手で、自分の眼や鼻、口を触ったりすることで体内に侵入し、それが感染拡大のきっかけとなるのです。様々な感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切になります。

得々プラン

やっぱり玉泉

2名様~14名様限定 1日5組限定

2018.1/4(木)~3/16(金) 除外日:土曜日、休平日

お1人様/1泊2食付 一室3名様~

12,000円 (税込)

●夕食会場の個室指定は、1名様1,080円(税込)増し
●ご宿泊前日迄お受けいたします

お1人様/1泊2食付 一室2名様

14,000円 (税込)

さらにもう一品

通常価格/ スワイ蟹一杯 3,780円
しまね和牛ステーキ(100g) 3,240円

それぞれ特別価格 1,080円 (税込)



ズワイ蟹一杯



しまね和牛ステーキ(100g)

※事前お申込み専用別注料理でございます。ご予約時にお申し付け下さい。

ホテル玉泉利用割引

-JA共済保養施設利用割引- がご利用頂けます。

利用対象/本県JA共済加入者、組合員およびその家族
割引金額/宿泊 **2,000円** 休憩 **1,000円**
※一人当たりの利用金額が3,500円以上の場合適用致します。

曲水の庭

ホテル玉泉

TEL.0852-62-0021代
http://www.hotel-gyokusen.co.jp


出雲・玉造温泉
政府登録国際観光旅館(登録第880号)
島根県松江市玉湯町玉造 53-2

電話受付時間 平日 9:00~19:00
土日祝 10:00~19:00

お申し込みはお近くの【JAしまね】旅行センターへ

旅行センター本部 出雲市斐川町直江5030番地	0853-25-8907	斐川旅行センター 出雲市斐川町莊原2172番地3	0853-73-9625
くにびき旅行センター 松江市西川津町1635番地1	0852-55-3041	石見銀山旅行センター 大田市長久町長久ハ56番地1	0854-82-3501
やすぎ旅行センター 安来市下坂田町1075番地1	0854-28-6699	島根おおち旅行センター 邑智郡邑南町下田所277番地	0855-83-0008
雲南旅行センター 雲南市木次町里方1088番地6	0854-42-9118	いわみ中央旅行センター 浜田市黒川町3741番地	0855-22-8820
出雲旅行センター 出雲市今市町87番地	0853-21-3305	西いわみ旅行センター 益田市駅前町15番地1	0856-22-8587

国民年金の第1号被保険者の皆様へ 国民年金基金に入りませんか!



国民年金基金

 とは

老後に受け取れる国民年金(老齢基礎年金)はご夫婦で月に約13万円。
しかし、高齢者世帯は、月約27万円かかると言われています。
この不足分を補うものとして、サラリーマンなどの人(第2号被保険者)には厚生年金がプラスされますが、自営業などの人(第1号被保険者)はご自身で上乗せしなければいけません。そこで、用意されている公的な個人年金が国民年金基金です。

加入できる人は?

20歳以上60歳未満の国民年金保険料を納付している国民年金の第1号被保険者の方および日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方が加入できます。

年金の給付は?

年金額の加入口数、年金受取期間は給付の型によって決まります。

毎月の掛金は?

掛金は加入時の年齢、性別、選択する給付の型と口数によって決まります。

島根県国民年金基金 ☎0120-654192

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター5階 http://kokuki-shimane.or.jp/

ごまめのマリネ



お正月のごまめアレンジです。ごまめが、子ども大人も好きなマリネになります。沢山の野菜も一緒に食べられるおいしいマリネです。食材はすべてサツと揚げるのがポイントです。

●材料 (4人分)

ごまめ……………	30g	酢……………	大さじ4
〔玉葱……………	1/2個	砂糖……………	大さじ2
塩……………	小さじ1/3	塩……………	小さじ1
きゅうり……………	1/2本	オリーブ油……………	大さじ2
さつま芋……………	小1個		

●作り方

- ①玉葱は塩をふって2～3分おき、水に3分ぐらいつけて流水で洗い水気を絞る。
- ②バットに酢、砂糖、塩、オリーブ油を入れ混ぜて①を入れる。
- ③さつま芋は細切りにし、水にさらしてアクをとり、ザルにあげ水気をふき取る。
- ④油を180℃に熱し、ごまめをさつと素揚げし、さつま芋を素揚げし熱いうちに②に浸けて味をなじませる。
- ⑤千切りきゅうりを混ぜる。

余ってる黒豆の煮物を使い

赤ワインで黒豆のおこわ



お正月に沢山煮た黒豆を使い作るおこわです。甘い煮豆を使うのでお砂糖は入れません。沢山食べて今年も「まめ」に過ごしたいですね。

●材料 (4～5人分)

煮豆 (黒豆) ……	100g	赤ワイン……………	大さじ4
もち米……………	1合	水……………	赤ワインと合わせて2合
うるち米……………	1合	塩……………	小さじ1/3
しめじ……………	1/4袋		

●作り方

- ①もち米、うるち米は洗い、ざるにあげて1時間おく。
- ②①を炊飯器に入れ、赤ワインと水、塩を入れる。
- ③汁気を切った黒豆の甘煮としめじを入れ普通に炊く。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、雪化粧の松江城。城下町松江のシンボルで、「千鳥城」とも呼ばれています。全国で現存する12天守の一つで、山陰地方で唯一の現存する天守閣であり、平成27年7月に国宝に指定されました。また、城山公園は「日本さくら名所100選」に選ばれており、島根県を代表する観光地の一つとして、全国各地から観光客が訪れています。

組合員・利用者の皆様へ (お詫び)

このたびJAしまねにおいて、臨時職員による給油カードの不正利用がありました。(JA店舗用の給油カードを自分の車のガソリン給油に使用。被害総額65,801円。全額返済済み。) 今後、係る事態を引き起こさないために、なお一層の法令遵守(コンプライアンス)の徹底を図ってまいります。農業協同組合としての果たすべき役割と使命を深く認識し、綱紀粛正を図り、信頼回復に向け役員一丸となり、新たな決意のもと、誠心誠意業務に取り組む所存であります。

平成30年1月
島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹下 正幸

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

